

氏 名	山崎 真之
学位の種類	博士(医学)
学位記番号	第 7 4 6 号
認定課程名	防衛医科大学校医学教育部医学研究科
学位授与年月日	令和6年2月19日
論文題目	精神疾患およびメンタルヘルスサービスに対する陸上自衛官の スティグマに関する因子の探索
審査担当専門委員	(主査) 東京医科 高橋 英彦 歯科大学 順天堂大学 教授 小西 清貴 大学改革支援・特任 鈴木 利哉 学位授与機構 教授

### 審査の結果の要旨

多くの国で軍人に対するメンタルヘルスサービスの導入が進められている一方で、軍人はその利用を忌避する傾向があることが知られている。その背景には、精神疾患に対するスティグマが関連していると考えられている。精神疾患に対するスティグマはその個人が所属している集団の文化からの影響を受ける。軍人は強い存在であるという体面を重要視し、精神疾患は個人の弱さと捉えてしまうことが多い。そのため、治療的介入が必要な状況にもかかわらず援助希求行動につながらないことが想定される。こうしたスティグマに関する調査はこれまで自衛隊において実施されてこなかった。そこで、本研究では陸上自衛官 4754 人に対して匿名のアンケートを実施した。アンケートでは、年齢、性別、最終学歴、配偶者の有無、子どもの有無、精神科既往歴を含む人口動態的因子、階級、災害派遣・海外派遣の経験の有無、部隊指揮官のリーダーシップ、所属部隊の団結力を含む自衛隊的因子を聴取した。3723 人（78.3 %）から有効な回答が得られた。

各因子とスティグマの関連性を探索するために、パブリックスティグマ、セルフスティグマ、援助希求の尺度の点数を目的変数として重回帰分析を実施し、媒介分析も行った。その結果、セルフスティグマは、パブリックスティグマと正の関連を、年齢、最終学歴、リーダーシップ、団結力、援助希求と負の関連を示した。さらに、精神疾患に対するパブリックスティグマは、セルフスティグマを介して援助希求に負の影響を与えているということが自衛官でも示された。したがって、精神疾患に対するセルフスティグマの軽減にフォーカスした教育的介入により、援助希求を高める可能性があることが示唆された。

本研究の成果は、指揮官の部下に寄り添うリーダーシップや部隊の団結力を強化、精神疾患に対するスティグマの軽減といった因子が、援助希求の促進に関与することを示したものであり、自衛官の精神的不調時の援助希求行動を高める方策決定に寄与することが期待される。よって、本論文の学術的価値は高く、博士（医学）として合格と判定した。